

発達障害とは？

発達障害は、生まれつきみられる脳の働きの違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態です。

政府広報オンラインより引用：

<https://www.gov-online.go.jp/featured/201104/index.html>

主なもの

☆ ASD：自閉スペクトラム症

☆ LD：限局性学習症

☆ ADHD：注意欠如・多動症

学校でみられる行動の例



① 授業中に落ち着きがない
[席を立つ、机をガタガタさせるなど]



② 机の整理が苦手で困っている



③ 板書を書き写すことができない
時間内にノートが書けない



④ ハサミ・ノリなどがうまく使えない

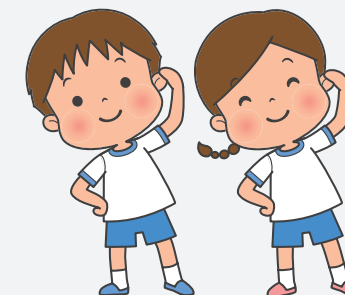
※上記は学校で見られる一部の例になります。

作業療法による対応例

●左記の学校でみられる行動の例に対して作業療法士が関わる時の対応策の一部を下記に載せます。

① 授業中に落ち着きがない

- ☆体を動かす時間を作る
- ☆始まりと終わる時間を視覚化する
- ☆姿勢が不安定な場合はチェアマットを敷いて安定させる



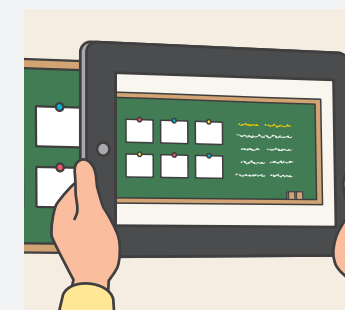
② 机の整理が苦手で困っている

- ☆持ち物量を減らす
- ☆しまう場所に印や置き場所を決めて名前をつけてラベリングをしておく
- ☆持ち物を移動させない



③ 書き写せない／ノートがかけない

- ☆書き写す負担を減らすことで、考えたり、発表場面で力を発揮できるようにサポートする



④ ハサミ・ノリなどがうまく使えない

- ☆使いやすい道具を選択し「できた」をサポートする
- ☆制作工程を減らすことや先生が準備・手伝いを行い、意欲に繋げる



お子さんそれぞれに苦手なことや得意なことが違います。上記に似た行動でも、原因は様々です。お困りの際はぜひ、作業療法士にご相談下さい。